

5/27
五復



祈りを行動に移そう

宗教者九条の和「平和」の一点共同

「宗教者九条の和」は19日、国会内で記者会見し、声明「内心の

記者会見で声明を読み上げる僧侶ら19日、国会内

自由を奪い処罰する『共謀罪』の廃案を求めます（先月25日発表）の「呼びかけ人」が「共謀罪」法案は信仰の内容は違っても、信仰の根本にたつて反

対せざるを得ない。もう引き下がれない」とど訴えました。「呼びかけ人」は仏教、キリスト教、新宗教、神道から62人、「呼びかけ団体」は18団

体。名前を連ねているのは聖護院門跡の宮城泰年門主、カトリック東京教区の岡田武夫大司教ら。声明は「共謀罪」を葬り去り、（中略）撤回させるために、宗教者が教団・組織の枠を超え、一致団結して立ち上がろう。戦前の失敗を繰り返さないため、「平和」の一点共同、

祈りを行動に移している」と呼びかけています。会場に「共謀罪」法案が衆院法務委員会で可決されたと伝えられるなか、創価学会有志からの連帯メッセージも紹介されました。日本山妙法寺の木津博充僧侶、カトリック東京正義と平和委員会の大倉一美担当司教ら

9人が発言。日本キリスト教協議会の小橋孝一議長は、「かつて、ある牧師が説教で一夫一婦の倫理を天皇陛下も守っているといっただけで逮捕された。治安を乱さなくても、何でもひっかけられる。『共謀罪』法案が衆院を通っても廃案まで執念をもって運動する」と話しました。

暴走走みみんななで阻止